

第1回 釧路市世界自然遺産登録推進本部会議

日時：平成25年4月23日（火） 16:30～16:50

場所：市役所本庁舎2階 第2委員会室

[事務局]

皆さんお揃いでございますので始めたいと思います。

平成25年度の第1回釧路市世界自然遺産登録推進本部会議を行いたいと思います。

冒頭、市長から、本部会議の立ち上げに当たり一言ご挨拶をいただきたいと思います。

【市長挨拶】

[蝦名 本部長]

ご苦労さまでございます。

第1回目の釧路市世界自然遺産登録推進本部会議ということでございまして、皆様よろしくお願ひいたしたいと思います。

この本部会議でございますけれども、今までの「庁内調整会議」、ここを格上げといひますか、さらにまた強固な体制にしていったなかで、世界自然遺産登録に向けて、しっかり推進をさせていこうというものでございます。

これまで、阿寒湖の皆様方がしっかりとマリモを守りながら環境保全を進めていただいた、そして市民の方々も、マリモというものに対して愛着を持ち、そしてまた、素晴らしい環境に恵まれた資源を活用していくなかで、この機運をさらに高めていきながら、目的に向かってまい進していこうという取組みになるものでございます。

おかげさまで、昨年 of 国の懇談会 of なかでも、国内 of 新規登録 of 是非という課題につきましては、クリアされたところでございます。この後、新たな候補地の検討会が開催されるというような流れとなっていることは、ご承知のとおりであります。

今まで培ってきたものがあるということに合わせまして、ご案内のとおり今年から、シュリコマベツ of 保全対策ということでの再生事業が、実際に現地でスタートするというところでございまして、こういった一連のことを踏まえていきながら、さらに「阿寒湖 of マリモ」、「マリモ of 阿寒湖」も、市民 of 皆様にとしっかりと認識をしていただき、この釧路市 of 世界自然遺産登録に向けまして、強力にスタートしていきたいと考えているところでございます。内容につきましては、この後、事務局 of ほうからそれぞれ説明していただきながら進めていきますので、みなさん、よろしくお願ひ申し上げます。

[事務局]

ありがとうございました。

それではこの後、次第に沿いまして、議事を進めていきたいと思っております。事務局であります都市経営課からご説明しましてご議論を、と思っております。

議事でございますが、「世界自然遺産登録の推進体制及び当本部の所掌事項」、「世界自然遺産登録の推進に向けた今後のスケジュール」につきまして、お手元の資料を見ていただきながら、ご説明したいと思っております。担当からご説明いたします。

【議事】

[事務局]

それではお手元の資料、「資料1」と「資料2」ということで2つの資料をご用意させていただいております。世界自然遺産登録推進本部の規約ということで、まずは「資料1」をご覧くださいと思います。

本日の推進本部の規約で、設置目的といたしましては、阿寒湖及びその周辺地域の世界自然遺産への登録を総合的かつ効果的に推進するため、釧路市世界自然遺産登録推進本部を設置する、としたところでございます。

この本部の所掌事項といたしまして、4点掲げております。1点目は、「阿寒湖及びその周辺地域の世界自然遺産登録に係る総合調整に関すること」、2点目といたしましては「世界自然遺産登録に向けた運動の展開、普及啓発及び情報の発信に関すること」、3点目で、「国及びその他の関係機関との協議調整に関すること」、4点目は「前3号に掲げるもののほか前条の目的達成に必要な事項に関すること」という大きな4項目とさせていただきます。

組織につきましては、第3条の推進本部ということで、本部長、副本部長、本部員ということで組織構成としたいと思っております。本部長は市長をもって充て、副本部長には副市長、教育長及び阿寒町行政センター長にあたっていただきます。本部員は、総合政策部、市民環境部、産業振興部及び生涯学習部の長をもって充てるとしてございます。

そのほか、第6条で「専門部会」ということで、この推進本部の下部組織といたしまして、細かな事務調整を行う専門部会を設置し、別表に掲げております職にある者をもって組織したいと思っております。

この本部の庶務につきましては、総合政策部都市経営課で事務局を担当させていただきたいと思っております。

そして、4月23日付けにて本部を発足するとなっております。

引き続き、資料の説明をさせていただきます。

「世界自然遺産登録の推進に向けた今後のスケジュール等について」ということで、今年度、この推進本部も含めてどのような形で取り組んでいくか、ということをもとめ

た資料が、資料2となっております。1ページずつ順を追って説明していきたいと思
います。

まず1ページ目でございます。

「平成25年度において取り組むべき事項」ということで、大きく6項目掲げてござ
います。

1点目は「推進本部の立ち上げ」ということで組織体制を確立すること、2点目は、
昨年立ち上げました「阿寒湖世界自然遺産登録地域連絡会議」を継続して開催する、そ
して3点目は、「市民に対する機運醸成」ということで、釧路市全体としてこの世界自
然遺産登録に向けた取り組みを行うために、市民の皆さんにもぜひこの世界自然遺産の
中身を知っていただいて、一緒に行動していただく形をとってまいりたいと思ってい
ます。4点目は、登録に向けてやはり学術的な知見の集積というのも必要になってきま
すので、この辺は生涯学習部とも連携しながら、学術的資料の集積を図ってまいりたい
と思っております。5点目としては、検討会を所掌する環境省・林野庁への要望活動と
いう、行政としての活動、国の関係機関に対し今の阿寒湖周辺の学術的資料をまとめた
概要版のようなわかりやすい形で阿寒湖を知っていただくことも必要だと考えており
ますので、このような資料提供を行ってまいりたいと考えております。6点目は、まだ
国のほうで検討会議を正式に立ち上げるというコメントは出されておりませんが、
検討会議に対応できるように、できるだけ、委員になられる方々とか、そういった
方々へのアプローチも必要だと思っておりますので、何らかの形でやっていきたいと思
っております。

2ページ目になります。

先ほどと重複いたしますが、推進本部の組織を整理いたしました。推進本部は規約の
とおり、資料に掲げる内容となっております。

この下に専門部会ということで、市長の挨拶にもございましたとおり、昨年度立ち上
げた庁内調整会議を格上げして推進本部という形をとっております。

専門部会は、個別の事業や取組内容を企画立案していただくために、課長・課長補佐
クラスで事務レベルの協議をする場として設置したいと思っております。

3ページ目です。

有識者会議の立ち上げということで、これは推進本部の組織とは別建てとして、(仮
称)釧路市世界自然遺産登録有識者会議といった会議を設置したいと、事務局としては
考えております。ここは、阿寒湖及び周辺地域の世界自然遺産登録に向けて、学術的な
調査研究、クライテリアと呼ばれる登録条件にどのような形で学術的な知見が必要なの
かといった専門的な意見の集約の場として、有識者会議を立ち上げたいと思ってい
ます。構成的には外部の学識経験者も入ってくるということで、今ここでは想定されうる

大学名を挙げており、あくまで未定でありますので、関係機関と詰めていきながら、どのような先生がよろしいかというところも含めて、検討してまいりたいと思っております。内部としては、当然にマリモ研究室それから博物館等々、市の学術的な部門についても参入していただいて、有識者会議という形でやっていきたいと思っております。

4点目の「組織の立ち上げ」については、「4月下旬」ということで本日立ち上げましたので、この推進本部自体は、当面、国の動きに合わせていくなかで、まずは平成25年度の活動を中心に、状況によっては26年度もありうるかと思いますが、基本は25年度中を想定しております。有識者会議の設定時期につきましては、どのような構成にするかも含めて、改めて別途設定をしたいと思っております。

4ページ目は、推進体制を図示化したものでございますので、簡単に説明させていただきます。

庁内体制としては、釧路市世界自然遺産登録推進本部ということで、本部と専門部会によって推進体制を整えて、それとは別建てで有識者会議という形で学術的知見をまとめ、当然に相互連携を取りながら進めていきます。地域との関係性としては、地域連携体制として、昨年立ち上げております釧路市世界自然遺産登録地域連絡会議ということで、地元阿寒湖温泉の関係団体の皆さん、環境省、根釧西部森林管理署、北海道釧路総合振興局、弟子屈町さん、そして釧路市で組織構成をとっておりますので、ここは地域全体という中身はこの連絡会議が担っていき、それを総合的に調整するのは推進本部という位置づけになろうかと思っております。

それから、環境省や林野庁、北海道といった行政関係機関に対しては、推進本部からの働きかけというのがメインの動きになろうかと思っております。

5ページ目、庁内各部署の役割分担ということで、推進本部を構成する各部が列挙されておりますので、専門部会でも具体的な作業内容を決めていくわけであり、本日は確認ということでご理解いただければと思いますが、推進本部は取組方針や全体の調整を図っていく、総合政策部は推進本部の運営や会議の調整または総合調整、有識者の方々へのアプローチなど、市民向けの啓発などといったことの総合調整としたいと思っております。生涯学習部につきましては、学術的な知見の集積がやはり第一と思っておりますので、その調査研究、学識経験者との連携、そして啓発活動ということでお願いしたいと思っております。市民環境部につきましては自然環境分野、国立公園ということもありますので、そういった部分での技術的な助言でありますとか調整、普及活動などにご協力をいただきまして、産業振興部では、最終的には世界自然遺産が経済面でいけば観光面に寄与するので、観光面からのアプローチもある程度必要ということで、観光関係団体との調整ですとか、啓発活動などの役割を担っていただきたいと思っております。阿寒町行政センターについては、当然、地元地域ということでございますので、関係団体の調

整ですとか、地域の啓発活動を担っていただきたいと思います。

続きまして6ページ目です。

取組の冒頭の6項目を具体的にイメージしたものを記載しております。阿寒湖世界自然遺産登録地域連絡会議の開催について、地元の関係機関、さきほど申し上げたメンバーで行っておりますので、情報共有を第一にして、機運醸成などの運動の展開につきましても、この会議も活用しながら行ってまいりたいと思っております。現在のところ、年三回程度の開催を予定しておりますが、国の動きによっては流動性があるかと思っております。

昨年も、この地域連絡会議では、筑波大学の吉田先生などをお呼びいたしましたので、そういったかたちで、世界自然遺産に関する識見を深めていくという取組を行ってまいりたいと思っております。

続きまして、市民に対する機運醸成のための取組ということで、基本的には、できればフォーラムなどといったものを行っていきたいと思っております。阿寒湖ということだけではなく、釧路市全体ということで、できれば釧路地域のほうで開催できればと思っております。詳細は専門部会で検討していきたいと思います。

9点目が、学術的知見の集積ということで、若菜マリモ研究室長の論文ですとか、そういった部分も含めて集積を図っていく、そして10点目となりますが、国への要望活動、学術的資料の提供ということで、一つは、まだ予定ではありますが、期成会としての中央要望による展開も図っていき、そして先ほども説明いたしましたとおり、既存の学術資料の概要版を作成しまして、環境庁や林野庁へ提供していくことも行っていきたいと思っております。

11番目は、国の検討会メンバーへのアプローチということで、現在、国の検討会のメンバーが正式に公表されているわけではありませんので、国の動向に合わせて市としても動き出していきたいと思っております。

7ページは、全体の1年度を通したスケジュールを、予定ではありますので流動性はあるかと思っておりますが記載しております。

国の動きとしては、予定を勝手な思いとして想定しておりますが、やはり前半戦の部分が、事務方の整理も含めてやっていかなければならないと思っております。推進体制としては、推進本部、専門部会、有識者会議というかたちで行っていく、それから、連絡会議のほうも、6月から12月までぐらいの間に3回開催していきたい、やはりマリモの現地を見ていただくことも考えると、いい季節に開催していきたいと思っておりますし、市民向けの機運醸成の取組というのも、9月くらいまでの間に実施したいと思っております。要望活動も、中央要望が7月だとすると、そのあと、学術資料の提供なども行っていきたいと思っております。学術研究は、もうすでに一部は着手しております。

すけれども、継続してまとめていきたいと思っておりますが、一部は流動性があると思っております。それからアピール活動は、検討メンバーについては、国の動向に合わせたかたちになりますので、実際、期限が9月末ということではないと思っておりますが、目途としてはこのくらいを考えております。あとは様々、普及啓発活動ということでの市民への機運醸成については、当然、年度を通じて行っていかなければならないと思っております。

こういった全体のスケジュールとしては、まだ今の段階では流動性が十分あると思っておりますが、進めていきたいと思っております。

資料等、事務局の考え方としては以上でございます。

[事務局]

事務方が取りまとめた資料等をご説明いたしました。この中でもございましたけれども、今年度前半域に、林野庁や環境省では未定だと思いますけれども、こういった検討会の動きが出ても対応できるように、特に前半域にいろいろな活動の中心を持っていったという思いのスケジュールを組んだものであります。

皆様方からいろいろなご意見をここで賜ればと思いますけれども、なにかございましたらお願いします。

[松浦 副本部長]

「しっかりやってみましょう」ということだね。

[蝦名 本部長]

そうですね。まずは、しっかりやっていく。

[事務局]

そうですね。まずはとにかく事務方の体制、それから市の庁内の体制をしっかり作っていくことは大前提ですけれども、やはり科学的知見はしっかりと集積していくことにも、まだ未定の部分がございますので、ここをしっかりと取り組んでいかなければならない、あわせて、阿寒湖畔だけの事ではございませんので、市民に広く理解と賛同を得るような取組というのも考えていかなければなりません。阿寒湖畔のほうでは、かなり地域でしっかり応援していただいている部分もございますので、これが広く市民に広がるような動きで、醸成を図っていきたいと考えております。

あと、なにかございますでしょうか。

[小林 本部員]

やはり市民の理解と機運の醸成というのが結構大切だと思っています。

私も、阿寒町行政センター長ということで、昨年からいろいろな会合に出席させていただいております。そのなかで、特別天然記念物60周年のことですとか、あるいは有識者懇談会での動きですとか、そういうものを具体的にお話しをして、説明をしてきておりますので、まずはできるところから皆さんで関わっていくのがよろしいのではないかと考えております。

[事務局]

少しでも機運を上げていくということが大事であろう、と。

[蝦名本部長]

私も、もう一回、昨年の名刺を使っていますから。マリモの写真を載せた。

[事務局]

専門部会は、どういうことができるかといった個別の議論になっていくと思いますので、回数を重ねていきたいと考えております。

[事務局]

世界自然遺産というのはかなりハードルがたぶん高くて、小松 前副市長も含めて、かなり息の長い活動が必要だろうというお話もございましたけれども、やはり地道にしっかりと取り組んでいくということが大事だと思っています。

[蝦名本部長]

よろしくをお願いします。

[司会]

そのほか、何かございますでしょうか。

[蝦名本部長]

ないですね。

[事務局]

それでは、本日の議案につきまして、基本にご賛同いただいたということで確認さ

せていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

【その他】

[事務局]

ありがとうございます。議事について皆様ご確認いただいたということにさせていただきます。

それでは、その他ということで、次回の日程について、現在の段階では来月に課長級の専門部会で具体的な活動の動きをさせていただいたのちに、6月見当になるかと思えますけれども、次回の会議でご報告をさせていただいて、取組を深めていきたいと思っております。

私ども事務局のほうからは以上でございますが、なにかございましたらお願いいたします。

（「なし」の声）

それでは、本日はありがとうございました。